

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立恵曇小学校）

平成30年9月25日

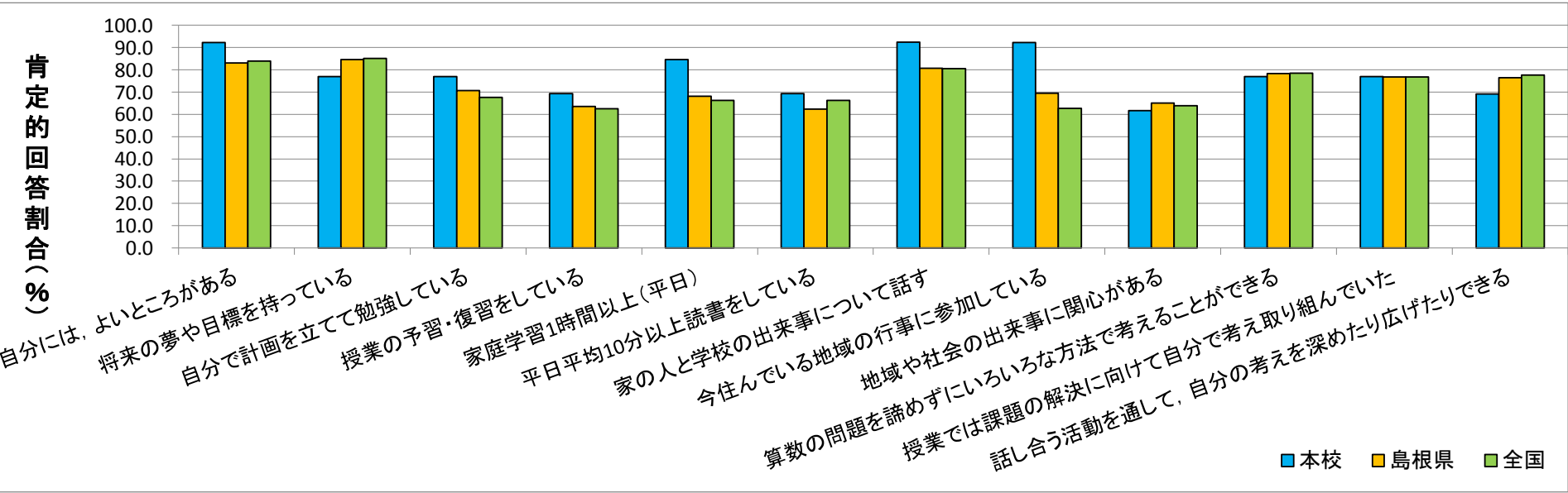
(1) 学力調査結果から見られた傾向

|    |           | 成果と課題(○：成果，●：課題)                                                                    | 対 策                                                                                                   |
|----|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語 | A<br>(基礎) | ○他の領域と比較して、「書くこと」はできている。<br>●主語と述語がきちんと対応しているかなど、文の整合性についての理解が十分でない。                | ・問われたことに応じた答え方や、主述にねじれのある文について指導する。(主述にねじれのある文を書いたり話したりしたときの、日常的な指導も大切にする。)                           |
|    | B<br>(活用) | ○記述式の問題での無解答が少なく、粘り強く考えようとする意欲が高い。<br>●出題の意図に合わせて文章から必要な情報を選んで取り出すことが難しい。           | ・要約の経験を重ねる。<br>(見学先で聞いた話をまとめる、友達の意見を聞いて自分の言葉で言い換えるなど。)<br>・国語辞典を活用した語彙指導や、情景描写による心情表現の指導を通して、読む力を高める。 |
| 算数 | A<br>(基礎) | ○基礎的・基本的な内容はある程度身に付いている。<br>●割合の問題などで、取り扱う数が整数以外(小数や分数)になるとき、どのように思考すればよいのが難しい。     | ・家庭学習で、少数や分数の計算練習や、応用的な問題に取り組む機会を多くする。<br>・個別指導を充実させる。家庭での自主学習で、個々の力や課題に合う内容に取り組むよう指導する。              |
|    | B<br>(活用) | ○問題場面が生活経験から想起しやすい場合は、発展的な内容でも筋道を立てて考えることができる。<br>●グラフを正確に、深く読み取る力が十分でない。           | ・資料やデータの読み取り方、整理の仕方などについて理科や社会科との関連を図るなど、他教科での指導にも力を入れる。                                              |
| 理科 |           | ○理科の授業で実際に実験や観察をした経験がある内容に関する問いの正答率はよい。<br>●課題に対する仮説と、そこから考えられる実験結果を正しく結びつけることが難しい。 | ・仮説をもとにした実験結果の予想や、実験結果からの考察をていねいに行う。<br>・器具の正しい使い方と、なぜそのように使うのかを正しく理解できるような指導を行う。                     |

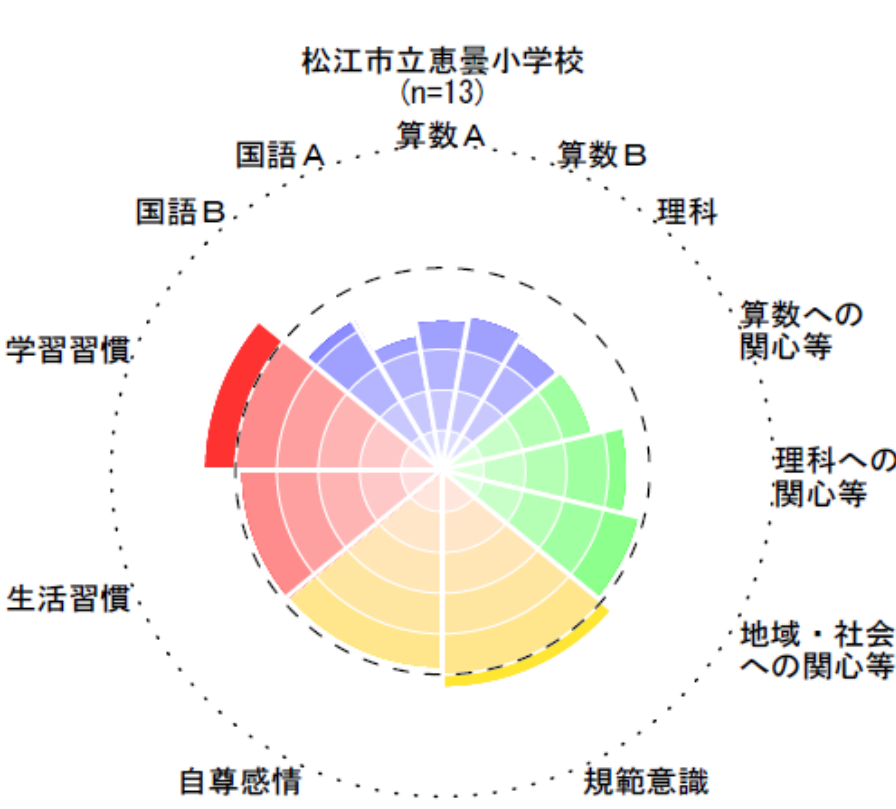
(2) 生活意識調査から見られた傾向

|  |  | 成果と課題(○：成果，●：課題)                                                                                            | 対 策                                                                                 |
|--|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  | ○自己肯定感が高く、すべきことはきちんとしよう、人の役に立ちたいという意欲をもっている。<br>●学習の意義や有用性に対する理解や意識が低く、今学習していることと自分の将来とつなげて生かしていこうとする意欲が低い。 | ・キャリア教育をより充実させ、将来の自分の姿、中学校への希望など長期的あるいは中期的なスパンで自分の将来について見通しを持つような学習の機会や声がけを継続的にこなう。 |

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

|                                                                                     |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--|
| ○図書館活用教育の充実                                                                         |  |
| ・読書の推奨、新聞ワークシートの活用、主語と述語を正しく読み取る力をつける学習や、問題文を分析的に読みとる学習の反復学習などを行い、読みの力、言語に関わる力を育てる。 |  |
| ○メディア学習の充実                                                                          |  |
| ・ノーメディアのよさを意識させる。チャレンジ週間の取り組みを継続し、学習したことを実践できるようにする。                                |  |

【参考】

| ○平均正答率 |   | 本 校 | 松江市 | 島根県 | 全国   |
|--------|---|-----|-----|-----|------|
| 国語     | A | 57  | 70  | 68  | 70.7 |
|        | B | 48  | 57  | 55  | 54.7 |
| 算数     | A | 52  | 62  | 61  | 63.5 |
|        | B | 40  | 50  | 49  | 51.5 |
| 理科     |   | 50  | 59  | 58  | 60.3 |

受検者数 12人  
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。